令和３（2021）年度　長岡大学シラバス

<table>
<tr><td>授業科目名
科目コード</td><td colspan="4">計量経済学（Econometrics）
392093-14100</td><td>担当教員</td><td colspan="3">太田　惠子
（オオタ　ケイコ）</td></tr>
<tr><td>科目区分</td><td>専門科目</td><td>必修・
選択区分</td><td>選択</td><td>単位
数</td><td>２</td><td>配当年次</td><td>２年次</td><td>開講期</td><td>後期</td></tr>
<tr><td>科目特性</td><td colspan="9">知識定着・確認型ＡＬ</td></tr>
</table>

①　授業のねらい・概要

経済システムにおける様々な経済現象を変数間の因果関係として捉え、経済データを基に数学や統計手法を用いて定式化する計量経済学の基礎を学ぶ。

②　ディプロマ・ポリシーとの関連

専門的知識・技能を活用する能力

③　授業の進め方・指示事項

授業前にその回の授業内容を確認し、講義ノートを整理・分析し、配布プリントを確認してくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。（１時間）

④　関連科目・履修しておくべき科目

経済統計学１、２

⑤　標準的な達成レベルの目安

(i)　計量経済学の基礎を理解できる。モデルを構築し、回帰分析手法によりモデル推定し、検証することができる。

(ii)　現実の社会経済に応用し、データをもとにモデル分析することができる。

(iii)　現実の社会を、変数間の因果関係をもった経済システムとしてとらえることができる。

⑥　テキスト（教科書）

使用しない。板書とプリントを随時配布する。各自しっかり講義ノートをまとめること。

⑦　参考図書・指定図書

牧厚志（最新版）『応用計量経済学入門』、日本評論社

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合	80%		10%			10%		100%
(i) 計量経済学の基礎的理解	80%							80%
(ii) 社会経済への応用分析			10%					10%
(iii)社会の経済システム的把握						10%		10%
フィードバックの方法	フィードバックの方法　　授業への参加・意欲は、課した課題の答えを、学生自らが黒板に書き、教師が質問し、解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
◆講義への出席が基本であり、授業中は集中して受講すること。 ◆積み重ねで学ぶので、欠席すると授業内容を理解するのが困難となる。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	計量経済モデルの位置づけ	筆記用具、電卓 配布プリント	配布プリント、講義ノートの整理・分析、復習	60 分
2	時系列データと横断面データ	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
3	貨幣需要関数と供給関数	筆記用具、電卓 配布課題	講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60 分
4	ＬＭ関数	筆記用具、電卓 配布課題	講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60 分
5	ケインズ型消費関数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
6	クズネッツ型消費関数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60 分
7	投資関数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60 分
8	ＩＳ関数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
9	生産関数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
10	因果関係の特定化	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分

11	独立変数と従属変数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
12	回帰方程式と最小自乗法	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
13	ｔ値とパラメータ	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	60 分
14	決定係数	筆記用具、電卓 配布プリント	講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60 分
15	まとめ	筆記用具、電卓 配布模擬問題	講義ノートの整理・分析、配布模擬問題の予習・復習	60 分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ＡＬを採用する。練習問題の答えを学生が黒板に書き、教員が質問し要点を解説することによって、知識の確認と定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
埼玉県職員（主事）として４年余り勤務し、ふるさと埼玉を守る条例に基づき指定した山林等の所有者に対して支払う奨励金に関して、その事務の簡素化・迅速化を図るため、システム仕様書、プログラム仕様書を作成し、これに基づきこの事務の電算システム化を完成させた。
実務経験と授業科目との関連性
講義を展開していく上で、事物を社会システムとしてのとらえ、実務における計量分析手法を事例としてとりあげることができる。